

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月28日

【評価実施概要】

事業所番号	4572100784		
法人名	医療法人社団慶城会		
事業所名	グループホーム仰星台北郷		
所在地	宮崎県東臼杵郡美郷町北郷区入下800番地 (電話) 0982-68-6608		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成20年10月22日	評価確定日	平成20年11月28日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

静かな山あいの村にあり、自然環境に大変恵まれている。中庭が広く、庭園や菜園があり地域の方が一部管理をしていただくなど、付き合いや交流の場となっている。管理者をはじめ職員は、サービス向上への意識が高く、限られた人員の中で日々工夫、研さんに努めている。恵まれた立地条件を生かし、地域から認められ地域に根ざしたホーム運営の努力がなされている。

【情報提供票より】 (平成20年9月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成17年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	2人, 非常勤 5人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	350 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成20年9月26日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	3	要介護2	1		
要介護3	2	要介護4	2		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 89.6 歳	最低	78 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	瀧井病院、美郷町立歯科診療所、美郷町立西郷病院
---------	-------------------------

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) ホーム便りが発行されている。現在のところ配布先は家族、運営推進会議メンバーであるが、ホームの行事などが良くわかるカラー刷りの見やすい紙面となっている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員全員で取り組み話し合う中で、現状を認識したり、「こうなったら嬉しい。」など具体的な目標を考える良い機会となっている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) ホームの行事、各種制度、評価など多岐に渡り家族も交え活発に討議がなされている。職員にも会議の内容を周知し、サービス向上のきっかけになっている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 苦情受付の窓口を重要事項説明書などに示し説明している。来訪や行事の際はもとより、運営推進会議に家族の出席をお願いし意見をお聞きしている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の方々と野菜・花などのやり取りをしたり、地域の行事に出かけるなど付き合いが深まっている。職員で行きとどかないところの掃除などは地域の方々にお手伝いいただいている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自のわかりやすい、具体的にイメージしやすい理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホールの常に目に入る場所に掲示している。採用・異動時のみならず、折に触れ説明している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣と気軽に野菜のやり取りをしたり地区の行事に出かけるなど地域との交流がある。自治会への加入を申し込んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で評価に取り組み、具体的なケアの向上、目標設定に役立っている。		

宮崎県美郷町北郷区 グループホーム仰星台北郷

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族を交え意見交換がなされている。会議の内容を職員にも伝え、サービス向上の材料としている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域ケア会議に参加するとともに、必要に応じ直接出向いて情報交換を行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の利用料請求にあわせ、暮らしぶりや健康状態を報告している。来訪や行事の折には直接お伝えするとともに、必要に応じ電話での連絡も行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時には直接意見をお伺いしている。運営推進会議に家族も出席いただき意見を聞いている。意見の内容は全職員に伝達している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動の場合、セレモニー的なことを行い利用者にはしっかりと伝えている。引き継ぎを管理者を中心に綿密に行うようにしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画的に外部、内部の研修を行っている。研修内容については、全体会議で報告を行い全職員に伝達している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じ法人内にとどまらず、地域の他法人のホームも集まって定期的に勉強会を開催し、情報交換を行っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居が決まった時点で、職員が状況確認のため訪問している。利用開始当初は、多くの来訪を依頼するなど家族と相談・協力しながら対応している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	三世同居の職員がおり、年長者を敬う気持ち強い。利用者から学ぶことも多く、ともに支えあいながら暮らす関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できる限り本人と話し、その意をくみ取るよう職員で話し合っている。また、家族から情報を得たり、日常の表情などから意向を把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員全員でカンファレンスを行い、来訪時などに家族の意向を聞きながら介護計画を作成している。時間の経過とともに活発に意見が交わされるようになった。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画期間ごとに見直しを行っている。毎月会議の中で達成状況を話し合い確認している。状態が変わった際はそれに即して新たに作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助は特別の場合を除き、ホームで対応している。ドライブと絡め故郷訪問なども行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人および家族の希望するかかりつけ医となっている。地域の医療機関、法人の医療機関と密に連絡を取り合っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時にホームとしての方針、対応できること・できないことを伝えている。終末期ケアの研修を順次受講している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	トイレ誘導などさりげない言葉かけがなされている。記録についても確実に管理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の流れはあるが、一人ひとりのペースや体調、気持ちにできる限り沿った支援に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	“全員で”とはいかないが前準備、調理、配膳、後片づけなどを一緒に行っている。食事時の会話も和やかで良い雰囲気である。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴時間を決めているが、拒否があるときは時間をずらすなど個人に合わせた対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	縫い物、洗濯物の片づけ、農作業などそれぞれの楽しみや役割があり、それに応じた支援がなされている。当日は鮎焼きの下準備をされていた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	重度化や車輛の関係で困難な面もあるが、中庭や公園への散歩、買い物、ドライブなどその時々に応じて外出の機会を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	見守りや一緒に動くことなどの工夫で日中は鍵を掛けないケアを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に地元消防団、近隣の協力を得て避難・誘導・消火訓練を行っている。運営推進会議に地元消防団役員も参加してもらっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取状態をチェックし、食べやすい食形態の工夫をしている。栄養バランスにも配慮し、定期的に関連施設の栄養士に相談している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花や飾りつけなど季節感の得られる工夫をしている。職員の声も含めて落ち着いた雰囲気である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お気に入りの洋服を壁にかけるなどの工夫がなされている。	○	居室が若干殺風景に思われた。日中の殆どをホールで過ごしていると思われるが、寝るだけの空間ではもったいないので、作品、写真など家族にも協力をお願いし生活感を演出してもらいたい。

※  は、重点項目。